

第二十二回長野県支部俳句大会入選

令和二年一月二十九日(日)

事前投句入選句

長野県知事賞	闇熱くなるまで祭太鼓打つ	岡谷市	堀川草芳
長野県県民芸術祭賞	酒母の神梁より降りて蔵の秋	須坂市	竹内雪絵
長野県教育委員会賞	折鶴に秋思の息を吹き込めり	茅野市	宮坂恒子
(公社) 俳人協会賞	ゆるやかに刻の過ぎゆく大花野	岡谷市	山田和子
俳人協会長野県支部長賞	鬼灯を鳴らす昭和の音色もて	岡谷市	瀧川重子
信濃毎日新聞社賞	青空をころがしてをり芋の露	岡谷市	西村はる美
SBC信越放送賞	鳩吹いて人から少し遠くみる	小布施町	小林京子
NBS長野放送賞	アルプスをどかつと置いて林檎挽ぐ	岡谷市	山口義清
TBSテレビ信州賞	一山を傾け風の秋桜	岡谷市	山田和子
abn長野朝日放送賞	学僧の白き襷や障子貼る	長野市	東福寺碧水
NHK長野放送局賞	かくれんぼ影のはみ出す麦藁帽	信濃町	杉山 惟
週刊長野新聞社賞	墓石の朱を削りをり鴟日和	高山村	矢野孝久
長野市民新聞社賞	ガレのランプ灯し時雨の美術館	諏訪市	藤森和子
長野日報社賞	梅雨穂草水神高く祀りたる	諏訪市	宮澤 薫
南信州新聞社賞	一揆の碑ほむらを挙ぐる曼珠沙華	長野市	丸田千春
鬼灯書籍賞	村の名の消へる今年の稲を刈る	千曲市	杵渕晴子
俳人協会長野県支部賞	日捲りの指にはりつく残暑かな	長野市	石井和子
俳人協会長野県支部賞	下駄箱に片減りの靴卒業す	長野市	松澤佳子
俳人協会長野県支部賞	稲架を組む大き夕日を背に負ひて	長野市	玉井玲子

当日投句入選句

長野県知事賞	躓きし畳の縁の寒さかな	長野市	荻原宏祐
長野県県民芸術祭賞	のみ握る女大工や冬ぬくし	長野市	西方来人
長野県教育委員会賞	諍ひはすぐに忘れて根深汁	長野市	齋藤都子
(公社) 俳人協会賞	手秤に海鼠を選ぶ女かな	長野市	荻原宏祐
俳人協会長野県支部長賞	寒き夜のほろと崩るる砂糖菓子	長野市	玉井玲子
信濃毎日新聞社賞	空席に夕日を乗せし路線バス	長野市	安藤勝之
SBC信越放送賞	大根の掛かる軒端の雨宿り	長野市	東福寺碧水
NHK長野放送局賞	無口なる父の一喝唐辛子	千曲市	青木く美子
鬼灯書籍賞	おでん屋の色紙に車寅次郎	長野市	山上正視
俳人協会長野県支部賞	冬の蜘蛛光の渦となりけり	長野市	丸山 匡
俳人協会長野県支部賞	石路や今なら解る母の愚痴	千曲市	杵渕晴子
俳人協会長野県支部賞	錆落とす遺品の手斧初時雨	長野市	丸山 匡